

未来を開く宮崎県産業界

宮崎県座談会

『東九州』新時代の幕が上がった。その道筋を開くのが、現在整備中の東九州自動車道。北九州を起点に大分、宮崎両県を結び鹿児島に至る総延長約436kmの高速道路だ。2016年春には北九州―宮崎間の開通を予定する。東九州道はまさに地域活性化の起爆剤。そこで次代を開く産官を代表するメンバーの座談会を行い、県内外で進む新規事業開拓について語ってもらった。

東九州道開通への期待

宮崎の底力発揮を 河野氏



河野 これまで県内経済は家畜伝染病・口蹄疫や鳥インフルエンザの発生、さらに新燃岳の噴火といった災害に見舞われた。13年度は「復興から新たな成長へ」の基本方針をまとめ、フードビジネスやメカニカル関連など成長産業の育成加速に取り組んできた。

一方、国全体では「アベノミクス」の効果が、景気回復の歯車が回り出した。その効果は県内経済の隅々まで行き届いていないが、総じて持ち直しの機運が拡大している。

こうした中、14年3月に宮崎市―延岡市間の東九州道が開通。16年春には北九州まで開通する。本県を飛躍させるビジネスチャンスを作りたい。

東九州道の効果は最大限生かすには「みがく」「つなぐ」「まわす」の3つのキーワードが大切。とりわけ「モノづくりにつなげていく」といって、モノづくりに分野は技術情報などをやりとりする際に、取引先とのフェイス・ツー・フェイスの人脈づくりが重要だ。本県は他の地域に負けない魅力がある。ただ、これまでインフラ整備の遅れが成長の障害になっていた。

東九州道の整備が進んだことで、障害を克服する環境は整った。まさに野球マンガで描かれたように、東九州道の開通効果で宮崎から時間と距離が短縮できたのは、大きなチャンス。北部九州の企業と連携などして、

「大リーグボール養成キャンプ」を脱ぎ捨て、主人公が生み出した魔球のように宮崎の底力を存分に発揮する時がきた。皆さんの取り組みをお聞かせ下さい。

山田 当社は自動車用ワイヤハーネスや電装部品の加工、組み立てメーカー。主に製品は県内の自動車部品サプライヤーに供給してきた。一方で北部九州の自動車関連産業の生産拡大に対応して、北部九州のサプライヤーへの販路開拓を模索してきた。こうした中で県が東九州道の開通を見据え、この5月に県内自動車関連企業の支援拠点、自動車産業北部九州フロンティアアクトを福岡県豊前市に開設した。福島の震災前、県内に工場を移転した。県内企業と、ひびく分野に参入した。門川町で豊富な太陽光と清らかな地下水を使う、植物工場で葉物野菜を生産している。

田村 宮崎大学工学部では09年から医工、農工連携につながるロボット技術の研究に取り組んできた。私は主に福祉医療機器開発の基礎研究を担当し、専門分野は生体信号の計測・解析。生体が発する信号を測って病気の診断や評価、さらには生活信号を使ったリハビリ機器を開発、研究している。

河野 物産面では東九州道の開通で、北部九州の企業と連携などして、

「大リーグボール養成キャンプ」を脱ぎ捨て、主人公が生み出した魔球のように宮崎の底力を存分に発揮する時がきた。皆さんの取り組みをお聞かせ下さい。

山田 当社は自動車用ワイヤハーネスや電装部品の加工、組み立てメーカー。主に製品は県内の自動車部品サプライヤーに供給してきた。一方で北部九州の自動車関連産業の生産拡大に対応して、北部九州のサプライヤーへの販路開拓を模索してきた。こうした中で県が東九州道の開通を見据え、この5月に県内自動車関連企業の支援拠点、自動車産業北部九州フロンティアアクトを福岡県豊前市に開設した。福島の震災前、県内に工場を移転した。県内企業と、ひびく分野に参入した。門川町で豊富な太陽光と清らかな地下水を使う、植物工場で葉物野菜を生産している。

県内産業の課題



「岡村理事長に持論の「匠の連携」についてうかがいます。これを基に本県産業の強みや課題について意見交換します。岡村 さきほど知事が三つのキーワードを紹介された。匠の連携も言葉

は違うが同じ意味合いだ。優れた技術力や商品力がある企業、人、いわゆる「匠」同士が連携すれば知恵が融合し、相乗効果が生まれる。本県産業の弱みは、大消費地や北部九州などの産

業集積地への距離が遠いこと。このため県内企業が市場で競争する経験が相対的に少なく、技術力が高いが提案力や設計力、営業力が十分に育ってこなかった。

一方、強みは全国に誇れる農林水産物の素材の良さ。そして人材の豊かさ。この強みを引き出し、フード・メカニカル関連産業の振興につなげることができると、独

創的な製品や技術で地域活性化の切り札となる新たな地域中核企業を育てることが大切だ。島原 確かに宮崎の強みは豊かな自然とその素材。農林水産分野の競争力は高く、基礎技術を持つ中小企業もある。県民性はまじめで感性豊かな。ただ生かして切れないのが残念だ。市場戦略や産官官に金融機関を含めた連携も十分ではない。自戒を込めて、もっといろいろな分野に挑戦する経営者の起業家精神を高めることができれば、可能性は広がると

う。こうした思いで設立したのが野菜光房。宮崎の農業は良い物を作っているが課題も多い。その農業を産業として見直し、企業的手法で変革に挑戦した。目標管理などを使って高効率、収益性の高い産業に変化できないかと試行錯誤した。農業者の仲間も加わり、異なる業種、業態が連携して立ち上げることができた。河野 フードビジネスは伸び代がある。13年には振興構想を策定した。以来、一つの旗を掲げた。この「宮崎キャビア1983」を発売した。まさに匠の連携の賜だ。今後ロゴを含めたデザインをパッケージ化したキャビアを、フードビジネスのモデルとして展開したい。

「匠の連携」についてうかがいます。これを基に本県産業の強みや課題について意見交換します。岡村 さきほど知事が三つのキーワードを紹介された。匠の連携も言葉

は違うが同じ意味合いだ。優れた技術力や商品力がある企業、人、いわゆる「匠」同士が連携すれば知恵が融合し、相乗効果が生まれる。本県産業の弱みは、大消費地や北部九州などの産

業集積地への距離が遠いこと。このため県内企業が市場で競争する経験が相対的に少なく、技術力が高いが提案力や設計力、営業力が十分に育ってこなかった。

一方、強みは全国に誇れる農林水産物の素材の良さ。そして人材の豊かさ。この強みを引き出し、フード・メカニカル関連産業の振興につなげることができると、独

創的な製品や技術で地域活性化の切り札となる新たな地域中核企業を育てることが大切だ。島原 確かに宮崎の強みは豊かな自然とその素材。農林水産分野の競争力は高く、基礎技術を持つ中小企業もある。県民性はまじめで感性豊かな。ただ生かして切れないのが残念だ。市場戦略や産官官に金融機関を含めた連携も十分ではない。自戒を込めて、もっといろいろな分野に挑戦する経営者の起業家精神を高めることができれば、可能性は広がると

う。こうした思いで設立したのが野菜光房。宮崎の農業は良い物を作っているが課題も多い。その農業を産業として見直し、企業的手法で変革に挑戦した。目標管理などを使って高効率、収益性の高い産業に変化できないかと試行錯誤した。農業者の仲間も加わり、異なる業種、業態が連携して立ち上げることができた。河野 フードビジネスは伸び代がある。13年には振興構想を策定した。以来、一つの旗を掲げた。この「宮崎キャビア1983」を発売した。まさに匠の連携の賜だ。今後ロゴを含めたデザインをパッケージ化したキャビアを、フードビジネスのモデルとして展開したい。

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

中核企業育成後押し 岡村氏

宮崎の貨物は宮崎の港から!!

定期航路一覧	宮崎港	油津港
細島港	(コンテナ船) 韓国航路 週5便 中国航路 週1便 神戸航路 週2便 (RORO船) 大阪航路 週3便 東京航路 週2便	(コンテナ船) 韓国航路 週1便 神戸航路 週1便 (RORO船) 東京航路 週2便

宮崎県ポートセールス協議会
〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号(宮崎県県庁整備部港湾課内)
Tel 0985-26-7189 / Fax 0985-32-4459 / http://www.m-port.gr.jp

太陽の恵みを受け、地域を育み、宮崎の輝く未来をつくりたい。

ソーラフロンティア国高工場で生産されたCIS太陽電池を使用し、国高町にメガソーラーを建設。その敷地には、雑草の生息を予防する、矢野産業の砕石商品「美砂(みさご)」を敷き詰め、土地のメンテナンス作業の軽減に役立っています。

矢野産業株式会社
本社 〒880-0024 宮崎市祇園3丁目1番地
TEL (0985) 24-3551(代) FAX (0985) 24-3929
■田井工場 ■日向工場 ■宮崎港事務所

営業品目
コンクリート用砕石
アスファルト用砕石
路盤材一式・道床用バラスト
土木用割製石・港湾用捨石・砕砂・グラウンド用美砂・農業用ロクワソ

グループ会社
●矢野運輸株式会社
●矢野産業輸送株式会社
●矢野損害保険株式会社
●宮崎再生材料株式会社
●黒瀬建設株式会社

宮崎県高原町 宮崎フリーウェイ工業団地 立地企業募集中!

南九州3県を臨む抜群の交通アクセス 県西地域への産業集積を目指す工業団地

POINT 1 宮崎自動車道高原インターからわずか1.5km!

POINT 2 宮崎空港と鹿児島空港に1時間以内でアクセス!

POINT 3 低価格で広い土地をニーズにあわせて確保可能!

POINT 4 九州最高額の支援制度! (上限50億円)

さらに!うれしいニュースです!

分譲価格を引き下げました。従来価格 12,000円/㎡ → 実質分譲価格 **2,950円/㎡以下**

リース制度を導入しました。初期投資の負担を軽減できます。リース開始後の5年間は、**年額100円/㎡** 通常年額198円/㎡

地域振興用地としての利用も可能に。
◎新エネルギー関連施設(研究施設・公園施設)
◎教育・研究施設◎医療・福祉施設などに活用いただけます。
※詳しくはご相談ください。

【お問い合わせ先】
宮崎フリーウェイ工業団地企業立地促進協議会
(宮崎県商工観光労働部 企業立地推進局 企業立地課)
TEL/0985-26-7096 FAX/0985-26-0219

高原町 まちづくり推進課
TEL/0984-42-2115(直) FAX/0984-42-4623

宮崎県企業立地 検索

宮崎ハイクテック工業団地 分譲中!!

先端技術産業の集積を目指す大規模工業団地

■宮崎市の中心部から西へ約12kmの台地に位置し、低炭素関連機器や医療機器などの先端製造業の集積を目指す宮崎市の中核的工業団地です。

■宮崎ハイクテック工業団地に立地する場合は、従来の企業立地奨励制度における投資額や新規雇用に対する助成に加え、土地取得費の助成など充実した優遇制度をご準備しています。

所在地 宮崎県高岡町高沢
事業主体 宮崎県土地開発公社
総面積 約38ha
分譲面積 約22.6ha(有効面積15.52ha)
分譲価格 約11,000円/㎡
現況 造成工事済
高速道路 宮崎IC 5km
主要道路 宮崎IC 14km
空港 東九州自動車道 宮崎自動車道 国道10号
鉄道 JR宮崎駅 13km
港湾 宮崎港 16km
電力 高圧供給(6kv) 近隣 特別高圧(66kv) 4.4km

【お問い合わせ先】
宮崎県中央地区企業立地促進協議会
(宮崎県企業立地課)
TEL/0985-26-7096 FAX/0985-26-0219

宮崎市工業政策課
TEL/0985-21-1793 FAX/0985-28-6572
e-mail:17kigy@city.miyazaki.miyazaki.jp

宮崎市東京事務所
TEL/03-3234-9777 FAX/03-3234-9776
e-mail:KYJ03702@nifty.ne.jp